

# 令和4年度 福岡県地域福祉活動職員連絡会 事業報告

## (1) 総括

令和4年度も新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、コロナ禍でも行える新たな活動の創出、つながりづくり、生活困窮者等の支援を各社協で行ってきたかと思えます。コロナ禍による社会の変化、住民の生活状況の変化等に応じて臨機応変な対応を行う中で、改めて社協の柔軟性、即応性の重要性を感じた1年となりました。

社協ワーカーはその仕事の性質上、多くの情報や幅広い知識、多様なスキルが求められます。こういったワーカーに必要な力を習得していくために、地職連としても、ワーカー同士で切磋琢磨できる場、講師等から学ぶ場を設けてきました。令和4年度は会員を対象とした研修会を3回、全体会議を2回行いました。

シブリングサポーター養成研修では、きょうだい児が抱える課題との向き合い方、セルフヘルプの重要性、原点回帰研修では、社協の受託事業のあり方や意義、活用方法、ファシリテーション力向上講座では、住民との向き合い方、ワーカーが習得すべきスキル等について学びました。また、第1回全体会議では、コロナ禍における取り組みをテーマに、コロナ禍での地域福祉実践を共有したうえで、社協職員としての軸をどこに置くのか、第2回全体会議では、広報や福祉教育、社協の財源等をテーマに、各社協での取り組み方法と、そもそものあり方等について改めて考える場になったかと思えます。

また、近年では新しく社協に入職するワーカーも増えており、地職連の研修会等にも多くの参加を頂いています。地職連は昭和46年に組織され50年以上の歴史がある連絡会です。先輩ワーカーがつないできた思いを代々引き継ぎ、咀嚼し、現在の形があります。自分自身が学んだことを次の世代に伝えていくことも、未来の地域福祉をよりよいものにしていくために必要なことです。今後も皆様の主体的な参画と、地職連の存在意義へのご理解をよろしく願いいたします。

## (2) 具体的な事業内容

### 【研修事業】

#### 「令和4年度総会后研修」

全体会議をイメージして、仕事をしていくうえでの悩みや事業の進め方などをグループで共有し、普段聞くことができない悩みや困りごとなどを語りました。そして、その悩みごとについて、ベテランワーカーはどう考え、どうやって乗り越えてきたのかアドバイスをいただきました。経験年数でグループ分けしたため、新人から中堅まで幅広い悩みごとを共有することができ、業務への向き合い方や方法論をはじめ、福祉教育や体制整備事業などに対するパネラーのコミュニティワークの視点に立った「想い」を聞かせていただきました。

▼日 時/令和4年5月20日(金) 15時~17時

▼会 場/リファレンス駅東ビル2階会議室Y-1

▼参加者/社協職員34名

▼パネラー/築上町社会福祉協議会 及川 泉 氏 福津市社会福祉協議会 中島 浩 氏  
筑後市社会福祉協議会 卜部 善行 氏 志免町社会福祉協議会 宿利 幸央 氏  
進行/大刀洗町社会福祉協議会 池松 昌亀 氏 八女市社会福祉協議会 棚町 陽一 氏

## 「シブリングサポーター養成講座～きょうだい支援に踏み出そう～」

ここで言うきょうだいとは、障害や難病の人の兄弟姉妹のことです。おそらくは全ての社協で障害者福祉の活動を行っているのですが、きょうだいに対してはどうでしょう。講師のNPO法人しぶたねからは、子どもたちの気持ちを代弁してくださりつつ、きょうだい支援の必要性や、押さえておきたいポイントなどを学びました。そこから、きょうだいの「不安・恐怖」「罪悪感」「困惑」「怒り」「寂しさ」「孤立感」「自己肯定感の低下」など、たくさんの気持ちを学びました。「きょうだい支援」と言ったとき、きょうだい当事者なのか。それとも周りにいる私たち支援者こそが当事者なのか。「ボクは透明人間みたいなんだ」というきょうだい児に、あなたならどんな言葉をかける？そんな問いかけが心に刺さった研修会となりました。

- ▼日 時／令和4年7月5日（火）13時30分～16時15分
- ▼会 場／筑後市総合福祉センター2階大会議室
- ▼参加者／社協職員26名
- ▼講 師／NPO法人しぶたね 清田 悠代 氏 ・ 眞利 慎也 氏

## 「原点回帰～受託事業の在り方から社協のアイデンティティを考える～」

この研修会は、『社協が目指す地域福祉とは』といった、まさに原点回帰することをテーマに開催いたしました。近年、社協の地域福祉活動の手段として、受託事業が増えている現状にあります。その中で、いつの間にか手段であった受託事業が目的になってないか、自らの実践を振り返り、明日からチャレンジできる実践を一人ひとりが考えました。社協の活動原則にある、『住民活動主体』は、全てを住民にお任せするのではなく、住民自身が主体的に地域での暮らしを創れるよう、社協ワーカーは、時にはじっと待ち、時には率先して活動し、タネを蒔きながら実践を積み重ねることが大切なのだと学びました。また、その過程で、有効な一手段として受託事業を活用するといった視点を取り入れる必要性を再認識する研修会となりました。

- ▼日 時／令和4年10月21日（金）10時～17時
- ▼会 場／リファレンス駅東ビル5階会議室V-2
- ▼参加者／社協職員35名
- ▼講 師／：阪南市社会福祉協議会 猪俣 健一 氏  
パネラー：糸島市社会福祉協議会 山崎 数彦 氏 広川町社会福祉協議会 江口 信也 氏  
大川市社会福祉協議会 野尻 裕太 氏

## 「ファシリテーション力講座～円滑な舵取りと裏返し～」

私たちは住民主体の地域福祉活動を推進していくために、さまざまな協議の場に立ち会う機会が多くあり、その際ファシリテーターとして、またそのサポート役として活躍する機会が多岐にわたります。今回はお笑い芸人の朝倉幸男さんを講師にお招きし、地域の方との掛け合いや触れ合いを通して、その人たちの想いに耳を傾ける、私たち社協ワーカーが日々の業務でも共通する点を体験談・失敗談など交えおもしろく講義いただきました。後半のグループワークはさまざまな性格・立場の役を割り当て、お題に沿った話し合いの場をロールプレイングで行いました。ファシリテーションが上達する方法は場数を踏む事ですが、技術があれば話し合いは円滑に進むわけではない、技術に溺れることなく、どんな想いの人がいてもファシリテーターは耳を傾け関心をもち全肯定するという関わり方を改めて学んだ研修会でした。

▼日 時／令和5年2月10日（金）13時30分～17時

▼会 場／クローバープラザ5階セミナールーム AB

▼参加者／社協職員41名

▼講 師／ワタナベエンターテインメント九州事業本部所属、お笑い芸人 朝倉 幸男 氏

### 【役員研修 エンドオブソーシャルワーク】

ソーシャルワーカーの倫理綱領には「われわれソーシャルワーカーは、（～中略～）、人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現をめざす専門職であり、多様な人々や組織と協働することを言明する」と謳われています。本来、地域づくりを進める社協こそが、社会の変革を目指したソーシャルワーカーのリードオフマンであるべきところですが、実際のところは、「福祉サービスあてはめ病」ともいえる状態に陥ってはいないか。そんな問いから本研修会を行いました。すでに海外では「end of social work」という言葉が使われる論文も発表されていることが稲葉先生から紹介され、ある意味では基本に立ち返ったソーシャルワーク実践に注力する必要性が指摘されました。

▼日 時／令和5年3月15日（水）15時～17時

▼会 場／リファレンス駅東ビル2階会議室 E

▼参加者／役員7名

▼助言者／九州大学基幹教育院 教授 稲葉 美由紀 氏

### 【会議の開催】

#### ■福岡県地職連令和4年度全体会議の開催-----

##### ●第1回

コロナ禍を契機に各社協で取り組まれた事業の整理・見直し（スクラップ&ビルド）について情報交換を行い、地域課題等を再確認するとともに、他市町村の取り組みやワーカーの想い等を共有し、今後の各社協での活動を考えることを目的に開催しました。

《テーマ》

- ①「コロナ禍の取り組みについて」
- ②「コロナの先へ～社協職員としての“軸”～」

▼日 時／令和4年8月31日（水）13時30分～17時

▼会 場／クローバープラザ5階セミナールーム C

▼参加者／社協職員36名（内、実習生12名）

##### ●第2回「みんなの社協はどうしてる？～聞きたい！知りたい！語りたい！～」

以下のテーマについて前半と後半でテーマを変えるグループワークを行いました。

《テーマ》

- ①「社協は見えづらい？～広報誌、SNS等の情報発信による見える化～」
- ②「対象は子どもだけ？～全住民型福祉教育～」
- ③「次世代専門職育成ミッション～ソーシャルワーク実習～」
- ④「最難関課題？～人材育成・部署間連携～」
- ⑤「財政難？会員減？～社協の自主財源・収益事業～」

グループ内で情報交換や協議を行い、前半グループでは解決できなかった課題や深めたい内容を提起し、後半グループは前半グループからの課題等も踏まえて協議を行いました。その後、グループごとの発表や全体を通しての質疑応答を行いました。今回の全体会議では、単体のテーマについて協議を行いましたが、他のテーマと繋がる部分が多くあり、単体の取り組みを考えるだけでなく総合的に考える視点が大切なこと、また、「やり方」だけでなく「あり方」が重要だという気づきの場になる充実した時間となりました。

▼日 時／令和4年12月21日（水）13時30分～17時

▼会 場／大野城市総合福祉センター3階大会議室

▼参加者／社協職員31名

## 【広報事業】

### ■会報「まなこ」の発行-----

#### 【発行月と発行月・内容】

No92（令和4年9月）

・「シブリングサポーター養成講座」研修報告、「令和4年度総会」報告・役員、新人ワーカー紹介 等

No93（令和5年3月）

・原点回帰 ～受託事業の在り方から社協のアイデンティティを考える～研修報告、  
第2回 全体会議 みんなの社協はどうしてる？ 聞きたい！知りたい！語りたい！報告  
ファシリテーション力講座 ～円滑な舵取りと裏回し～研修報告、社協あるある川柳 等

### ■ホームページ・facebookの運営-----

ホームページ、facebook等を通じ、研修等の情報提供等を行いました。

### ■福岡県社協との連携-----

役員会や研修会に参加いただき、情報交換、共有等を行いました。

### ■役員会、監査の開催-----

#### ●役員会

	日にち	場所	参加者	内容
第1回	4月19日（火）	志免町総合福祉施設シーメイト	9名	R4 事業計画、予算他
第2回	5月20日（金）	リファレンス駅東ビル	15名	R4 総会、他
第3回	7月5日（火）	筑後市総合福祉センター	9名	R4 研修、まなこ他
第4回	8月31日（水）	クローバープラザ	14名	R4 研修、まなこ他
第5回	10月11日（火）	コムシティ	9名	R4 研修、まなこ他
第6回	12月21日（水）	大野城市総合福祉センター	8名	R4 研修、まなこ他
第7回	2月10日（金）	クローバープラザ	9名	R4 研修、まなこ他
第8回	3月15日（水）	リファレンス駅東ビル	7名	R5 総会、事業計画、予算他
第9回	5月26日（金）	リファレンス駅東ビル	8名	R5 総会、事業計画、予算他

※参加者は地職連役員及び県社協担当者です。時期によって新旧役員、実習生等が参加しています。

●監査

日にち	場所	参加者
4月7日（金）	志免町総合福祉施設シーメイト	4名

※参加者は監査、会計、会長です。